

# 「平成30年度地方自治体における サイクルツーリズム施策に関する調査」 調査結果レポート（サマリー版）

\*本調査は平成30年度観光庁「テーマ別観光による地方誘客事業」の一環として実施した。

ツール・ド・ニッポン

一般社団法人ルーツ・スポーツ・ジャパン  
全国サイクルツーリズム連携推進協議会

## 調査の目的

---

地方自治体のサイクルツーリズム（自転車・サイクリングを活用した観光交流振興）施策の実態を調査することによって

- ✓自治体側のサイクルツーリズム施策についての**現状と取り組み意向**を明らかにすること。
- ✓自治体側で抱えている**課題や阻害要因**を明らかにすること。
- ✓成果と施策の相関を探ることによって、**横展開可能な成功法則（仮説）**を立てること。

# 調査概要

ツール・ド・ニッポン

- 調査名称：地方自治体におけるサイクルツーリズム施策に関する調査
- 調査期間：2018年11月20日（火）～12月20日（木）
- 実施主体：全国サイクルツーリズム連携推進協議会  
（代表団体：一般社団法人ルーツ・スポーツ・ジャパン）
- 共同主体・調査協力：東海大学 押見大地研究室／北海道教育大学 福原崇之研究室
- 協力：一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構
- 郵送法・・・1780部配布（全国の都道府県・市町村）
- 回収数・・・1104部（回収率62.0%）
  
- 目的：地方自治体におけるサイクルツーリズムの現状と取り組み意向、関連ニーズや課題について明らかにすること

# 回答サンプルの概要

ツール・ド・ニッポン

## 回収エリア

	度数	パーセント
有効 北海道	118	10.7
東北	132	12.0
関東	224	20.3
中部	205	18.6
近畿	152	13.8
中国	63	5.7
四国	45	4.1
九州	165	14.9
合計	1104	100.0

## 行政区分

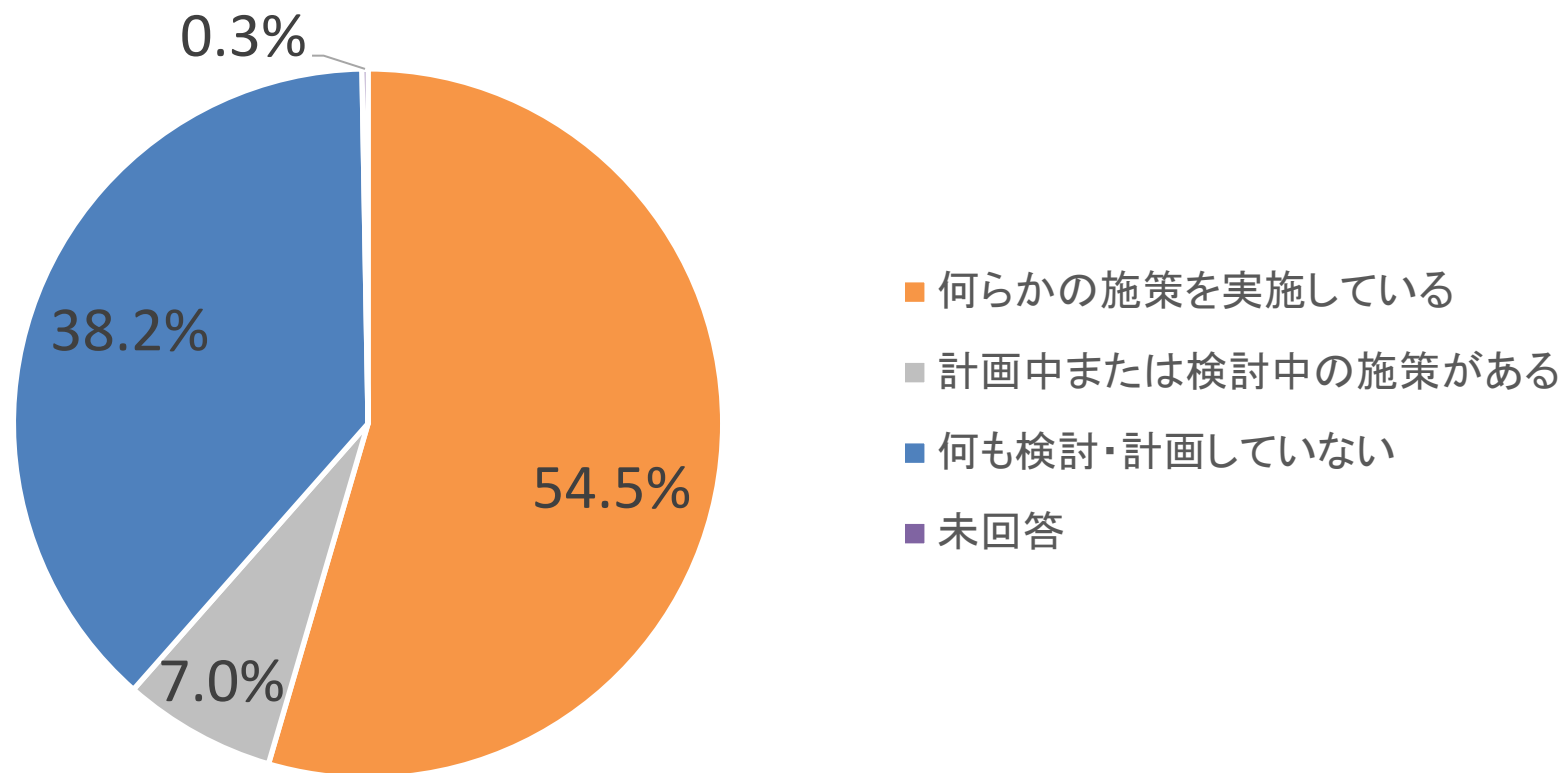
	度数	パーセント
有効 都道府県	31	2.8
指定都市	16	1.4
中核市	44	4.0
特例市	20	1.8
その他	972	88.0
23区	21	1.9
合計	1104	100.0

# サイクルツーリズム施策の現状①

## ツール・ド・ニッポン

ざっくり  
言うと

- ✓ 回答があった自治体のうち、何らかのサイクルツーリズム施策を実施している自治体は**54.5%**であった。
- ✓ 計画中・検討中を含めると61.5%の自治体がサイクルツーリズムに取り組んでいる。



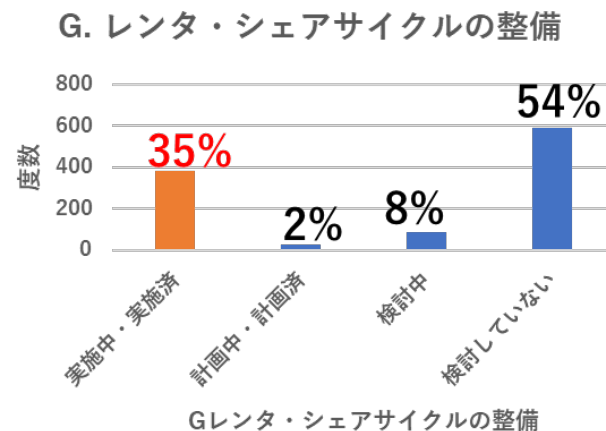
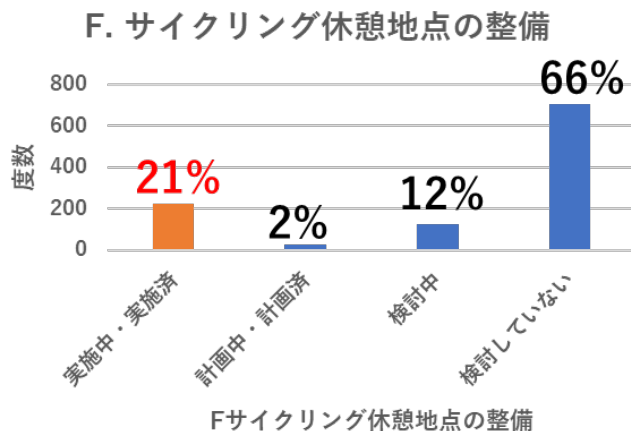
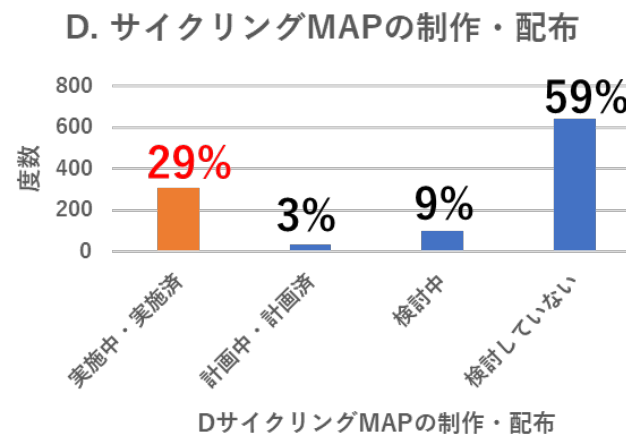
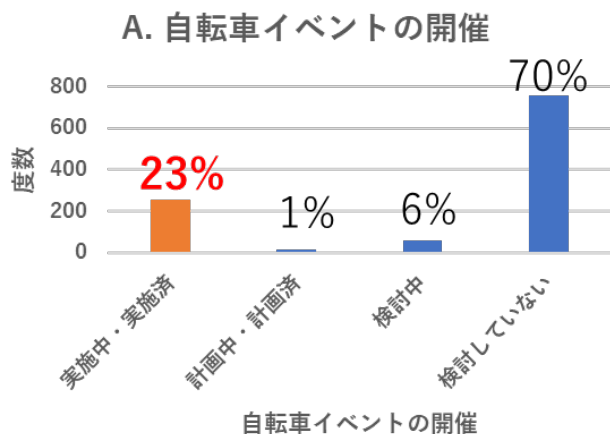
# サイクルツーリズム施策の現状②

ツール・ド・ニッポン

ざっくり  
言うと

回答があった自治体のうち、実施中/済 TOP4施策は以下の4項目であった。

1. レンタ/シェアサイクルの整備 (35%)
2. サイクリングMAPの制作/配布 (29%)
3. 自転車イベントの開催 (23%)
4. サイクリング休憩地点の整備 (21%)

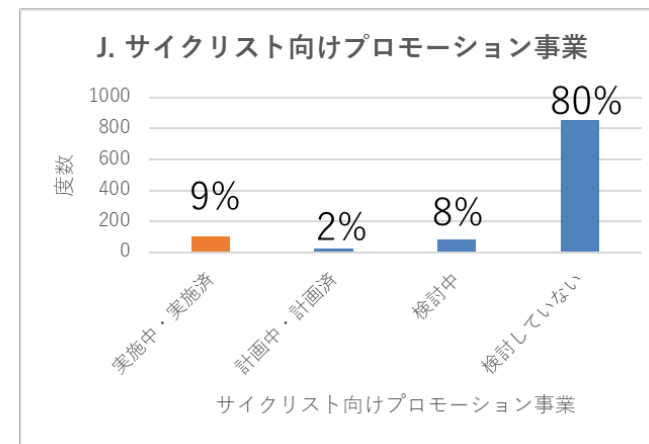
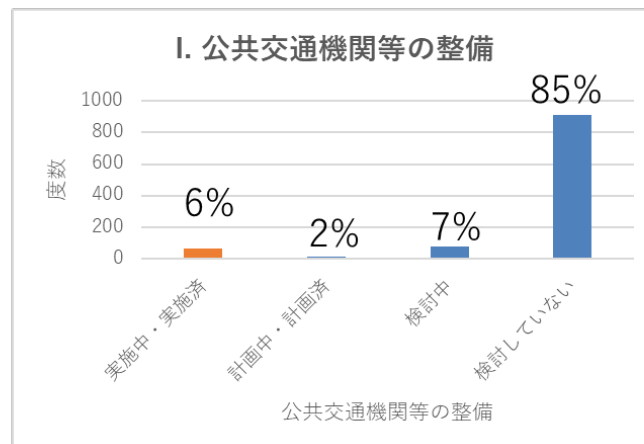
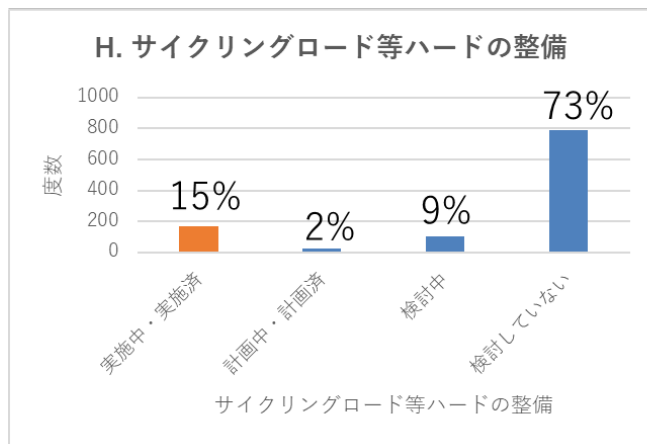
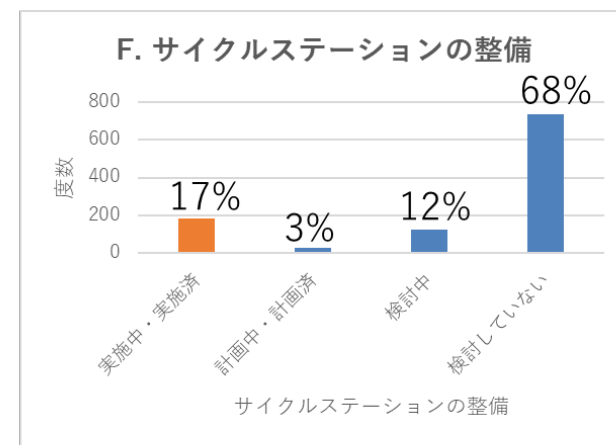
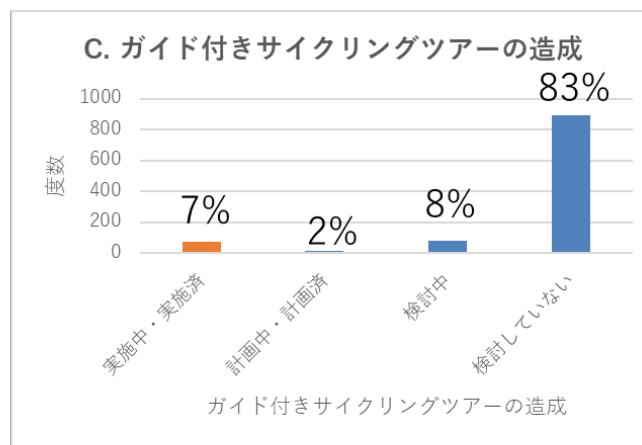
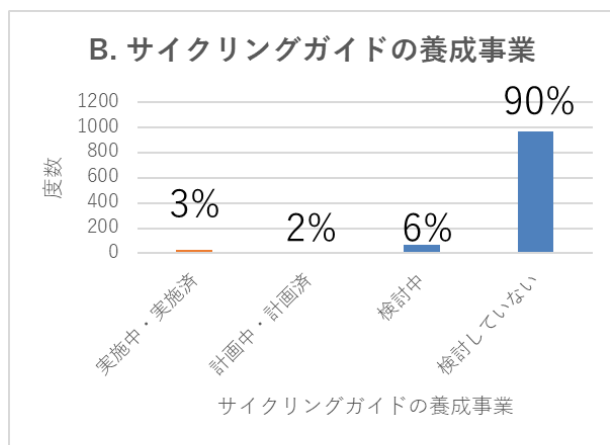


# サイクルツーリズム施策の現状③

# ツール・ド・ニッポン

ざっくり  
言うと

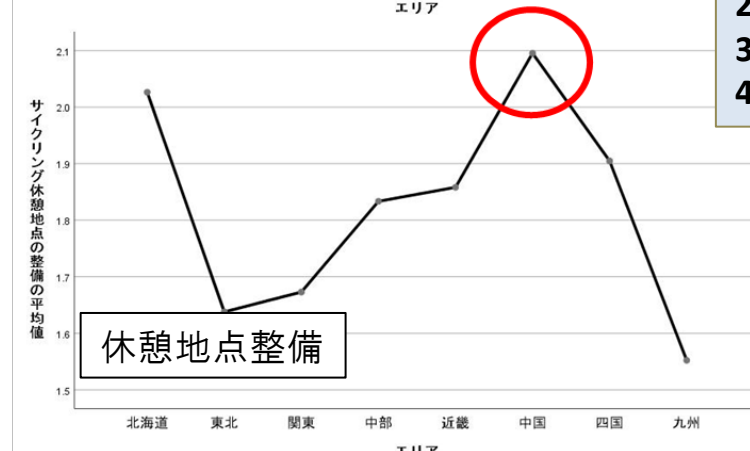
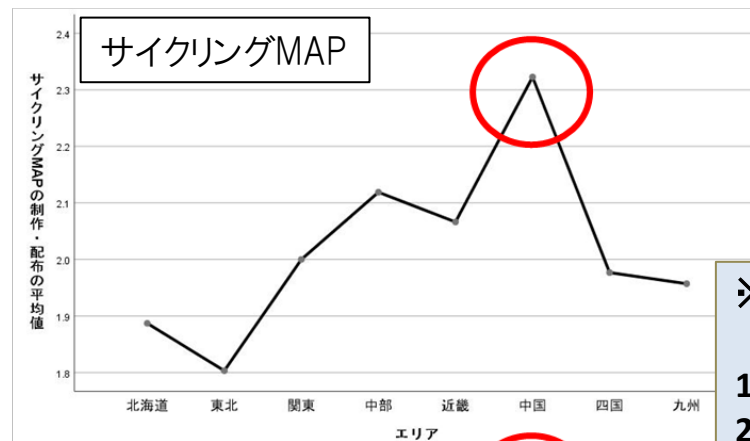
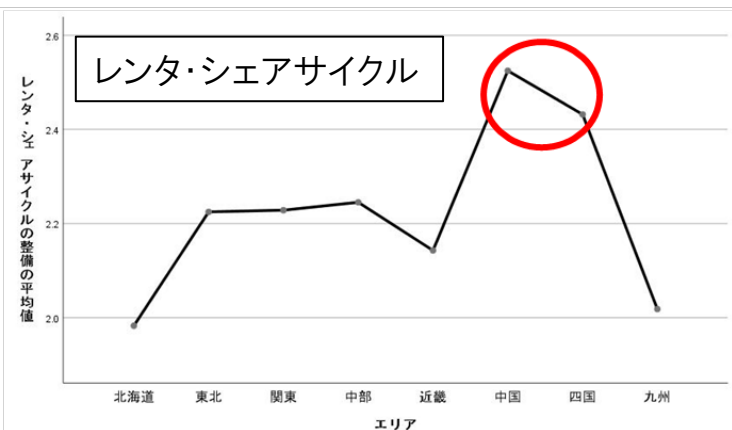
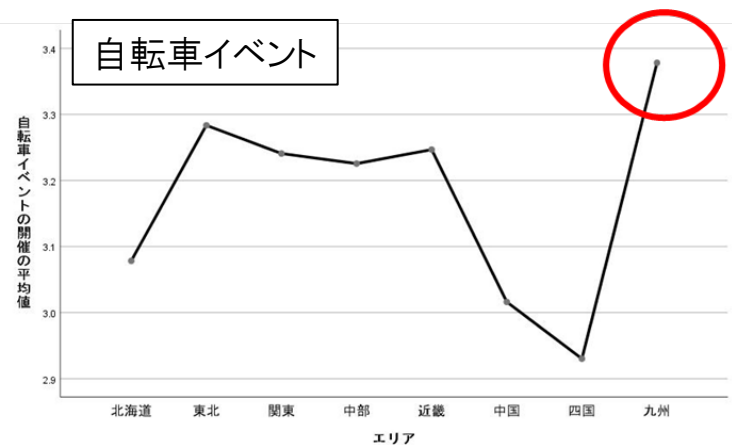
- ✓ TOP4以外の施策の実施率は20%以下であった。
- ✓ サイクリングガイド（養成・ツアー）に関する施策の実施率は低い。



## 実施施策のエリア別傾向①

ざっくり  
言うと

- ✓ 自転車イベントの開催については、九州エリアでの開催・計画に関する値が高い。
- ✓ シェアサイクルやサイクリングMAP、休憩地点の整備には、中国、四国地方での値が高い。



※操作的に以下のように  
数値化した

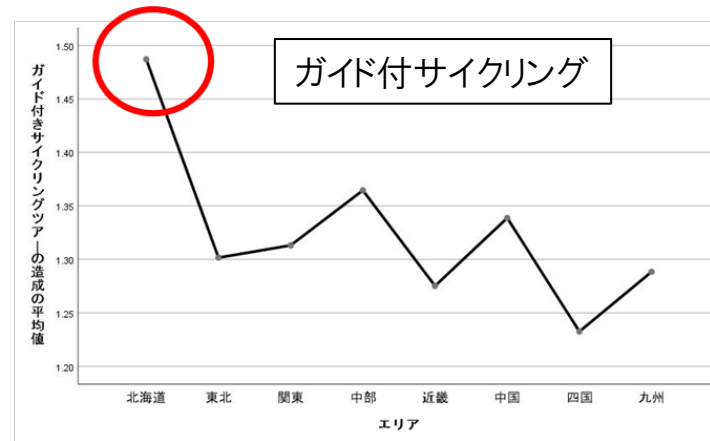
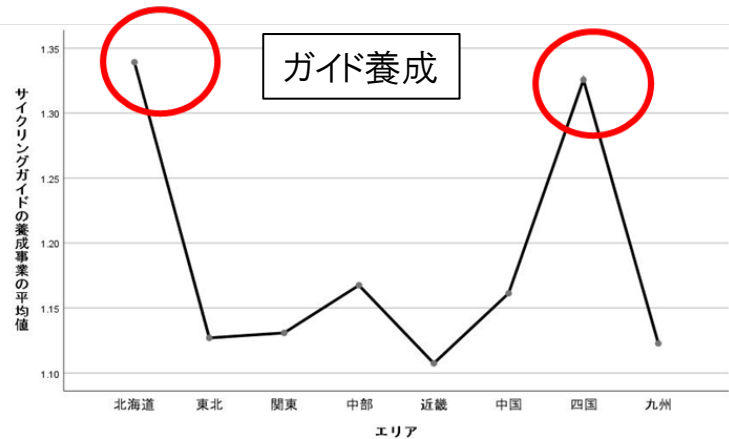
- 1... 検討していない
- 2... 検討中
- 3... 計画中・計画済
- 4... 実施中・実施済



## 実施施策のエリア別傾向②

ざっくり  
言うと

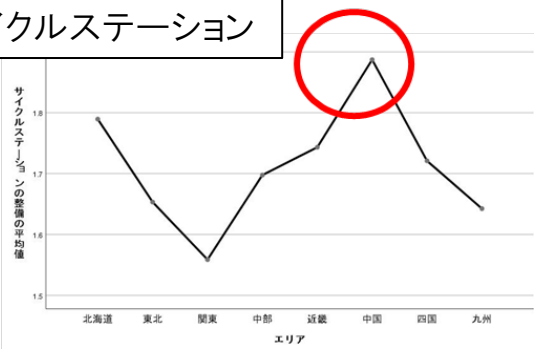
- ✓ サイクリングガイド養成は北海道と四国で値が高く、北海道ではガイド付きツアー造成の値も高い。
- ✓ サイクルステーション・サイクリングロード等の整備は、中国・四国地方での値が高い。



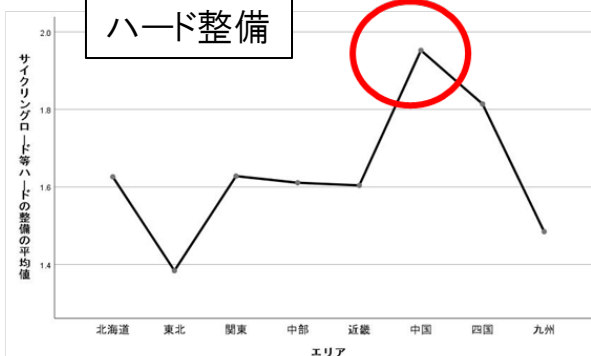
※操作的に以下のように  
数値化した

- 1・・・検討していない
- 2・・・検討中
- 3・・・計画中・計画済
- 4・・・実施中・実施済

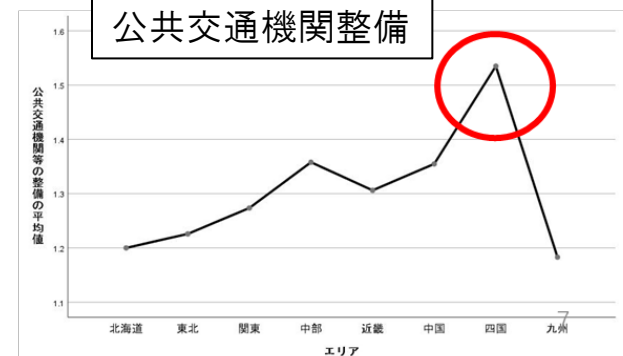
サイクルステーション



ハード整備



公共交通機関整備

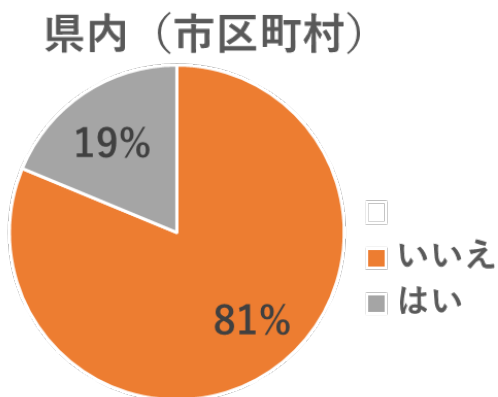
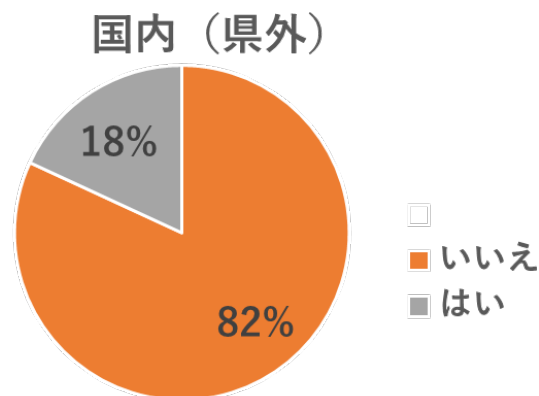
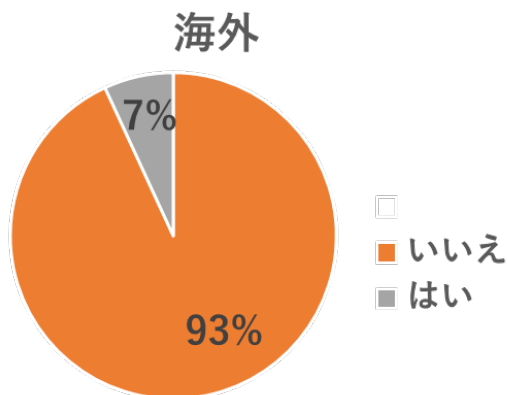


## 実施施策のターゲット(エリア)の傾向①

ワールド・ドット・ニッポン

ざっくり  
言うと

✓ ターゲットとしては**国内（県外）**と**県内（市区町村）**がそれぞれ**約20%**の値を示し、**海外が7%**であった。



# 実施施策のターゲット(エリア)の傾向②

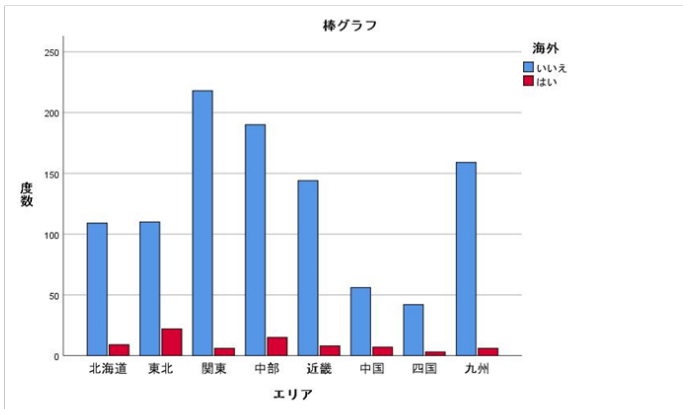
ワールド・ド・ニッポン

ざっくり  
言うと

- ✓ **海外**をターゲットとしているのは**東北地方**で割合が高く、国内（県外）および県内（市区町村）では関東や中部を中心として全体的に値が高く、**その割合はほぼ同じ値**となった。

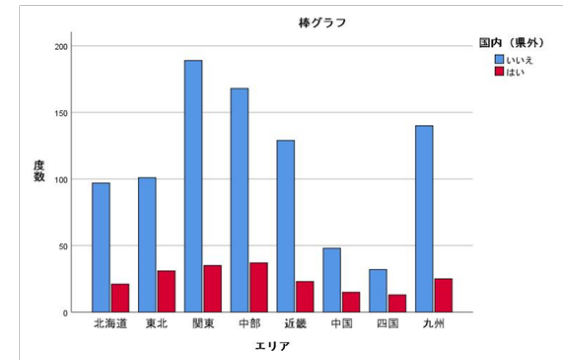
## 海外

北海道	7.6%
<b>東北</b>	<b>16.7%</b>
関東	2.7%
中部	7.3%
近畿	5.3%
中国	11.1%
四国	6.7%
九州	3.6%



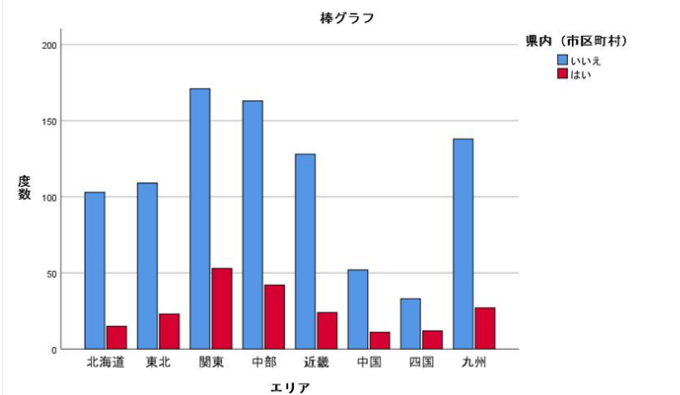
## 国内（県外）

北海道	10.7%
東北	12.0%
<b>関東</b>	<b>20.3%</b>
中部	18.6%
近畿	13.8%
中国	5.7%
四国	4.1%
九州	14.9%



## 県内（市区町村）

北海道	10.7%
東北	12.0%
<b>関東</b>	<b>20.3%</b>
中部	18.6%
近畿	13.8%
中国	5.7%
四国	4.1%
九州	14.9%



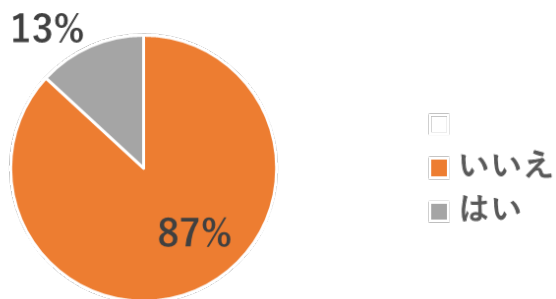
# 実施施策のターゲット(レベル)の傾向①

## ツール・ド・ニッポン

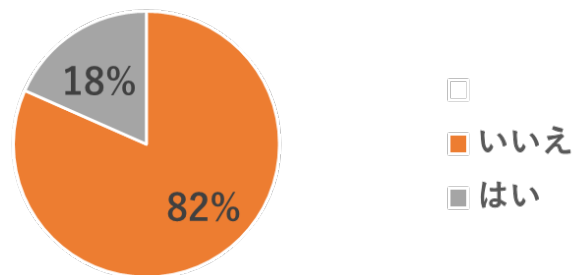
ざっくり  
言うと

✓ サイクルツーリズムのターゲット(レベル)としては**一般観光客やファン**サイクリスト向けの**数値が、本格サイクリストよりも高い値を示した。**

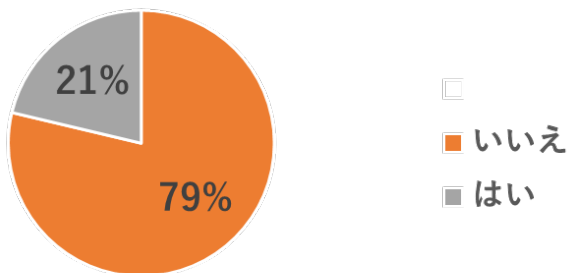
本格サイクリスト



ファンサイクリスト



一般観光客



# 実施施策のターゲット(レベル)の傾向②

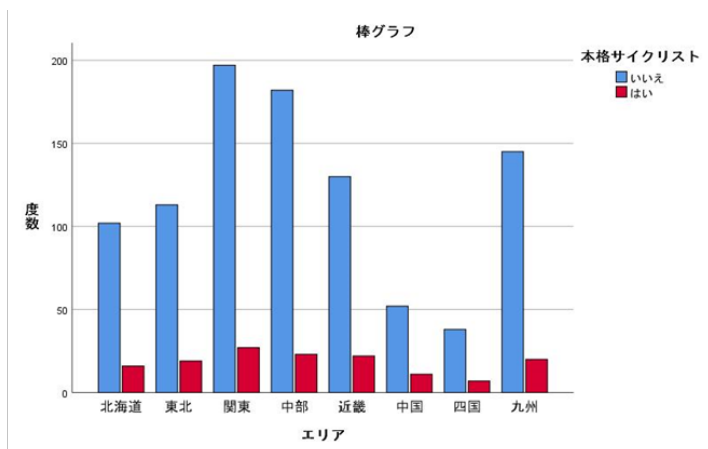
## ツール・ド・ニッポン

ざっくり  
言う

✓ 全体的に一般観光客やファンサイクリストをメインターゲットとしている傾向がみられる。

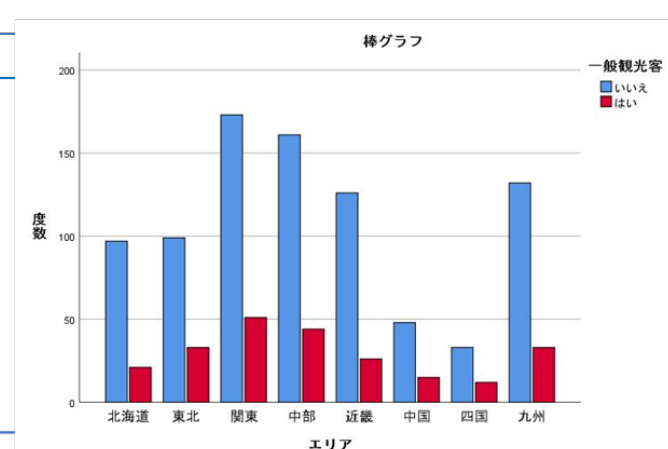
### 本格サイクリスト

北海道	13.6%
東北	14.4%
関東	12.1%
中部	11.2%
近畿	14.5%
<b>中国</b>	<b>17.5%</b>
四国	15.6%
九州	12.1%



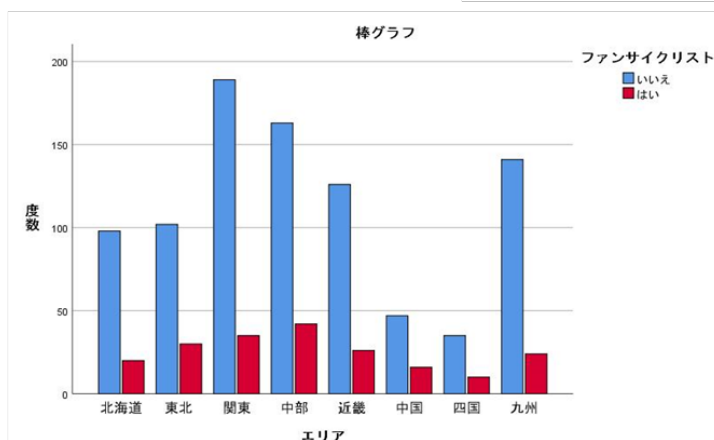
### 一般観光客

北海道	17.8%
<b>東北</b>	<b>25.0%</b>
関東	22.8%
中部	21.5%
近畿	17.1%
<b>中国</b>	<b>23.8%</b>
<b>四国</b>	<b>26.7%</b>
九州	20.0%



### ファンサイクリスト

北海道	16.9%
<b>東北</b>	<b>22.7%</b>
関東	15.6%
中部	20.5%
近畿	17.1%
<b>中国</b>	<b>25.4%</b>
<b>四国</b>	<b>22.2%</b>
九州	14.5%



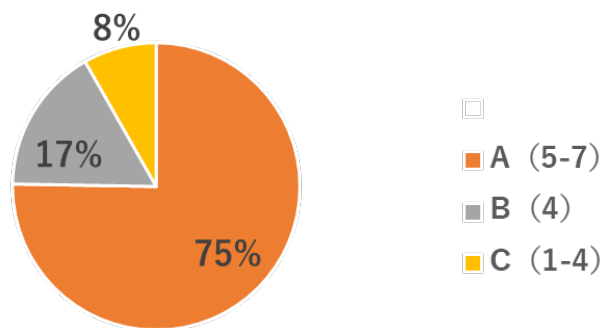
# サイクルツーリズム導入への期待

ツール・ド・ニッポン

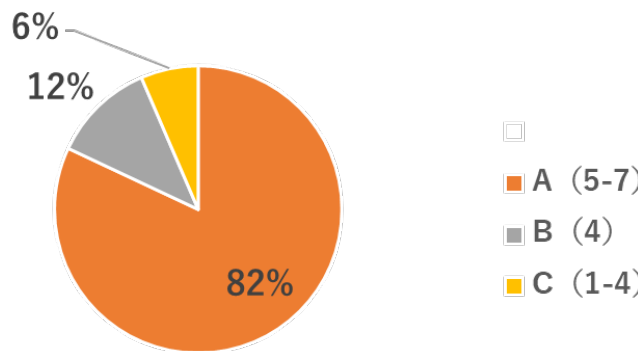
ざっくり  
言うと

✓ サイクルツーリズム導入への全般的な期待として、**(通年含め) 誘客効果やシティプロモーションへの値**が比較的高く、スポーツ振興や健康増進に対する期待がそれに続いた。

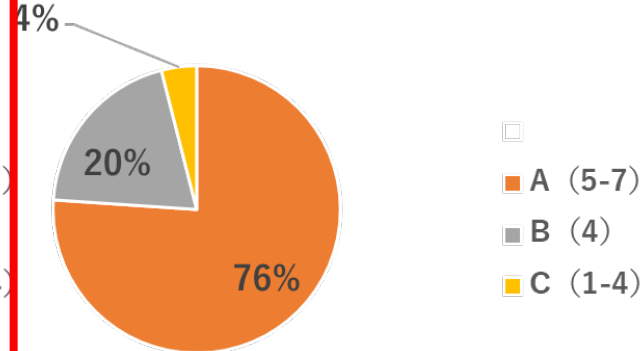
新誘客効果



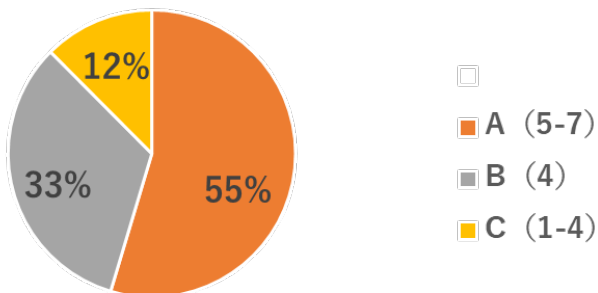
通年的誘客効果



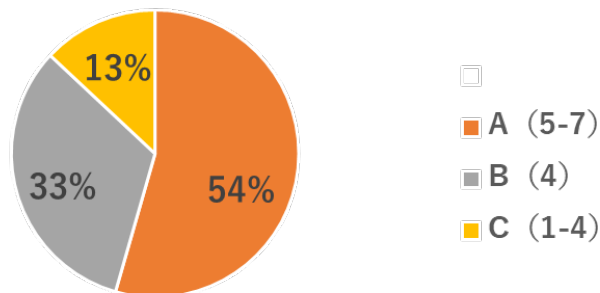
シティプロモーション



スポーツ振興



健康増進



1(まったくそう思わない)  
~7(とてもそう思う)  
※7段階評価

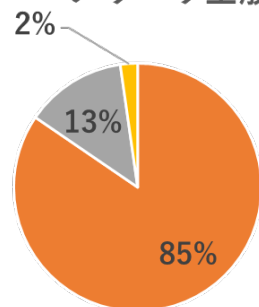
# サイクルツーリズム導入への課題や阻害要因

ツール・ド・ニッポン

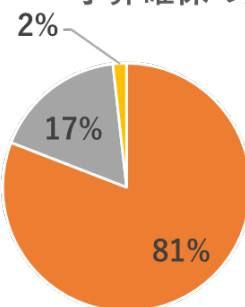
ざっくり  
言うと

✓ サイクルツーリズム導入への課題や阻害要因として、**ノウハウ不足**や**予算の確保の困難さ**、**マンパワー不足**の値の高さが特に目立つ。

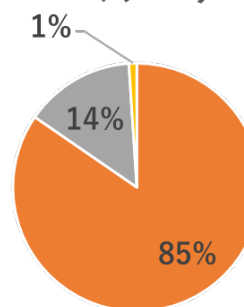
ノウハウ全般の不足



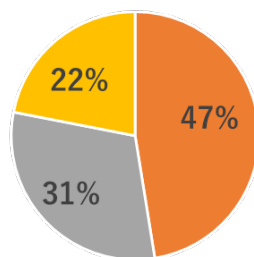
予算確保の難しさ



マンパワーが不足

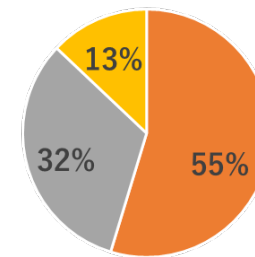


場所やコース等の物理的制約



1 (まったくそう思わない) ~ 7 (とてもそう思う)  
※7段階評価

サイクリストのニーズがわからない

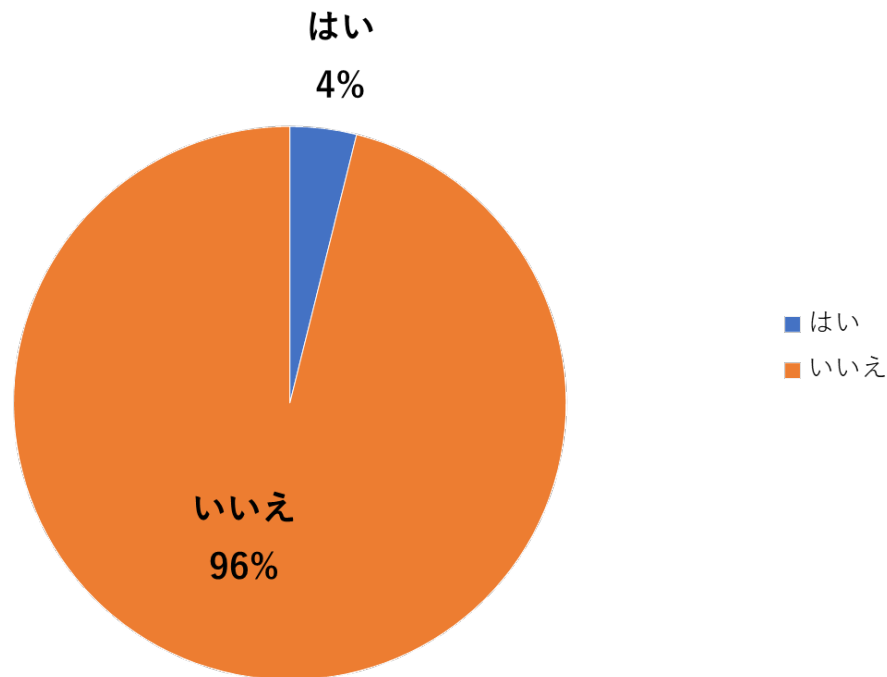


# サイクルツーリズムに関する調査事業

## ツール・ド・ニッポン

ざっくり  
言うと

- ✓ 「**サイクルツーリズムに関する調査事業**を実施したことはあるか」の問いに対しては「**いいえ**」の回答が**全体の96%**を占めた



- ✓ 「**サイクルツーリズムに質する地域資源の掘り起こし調査**」、「**当地を訪れるサイクリストのマーケティング調査**」等の調査事業は**精度の高い施策づくりに役立つ**と考えられる。

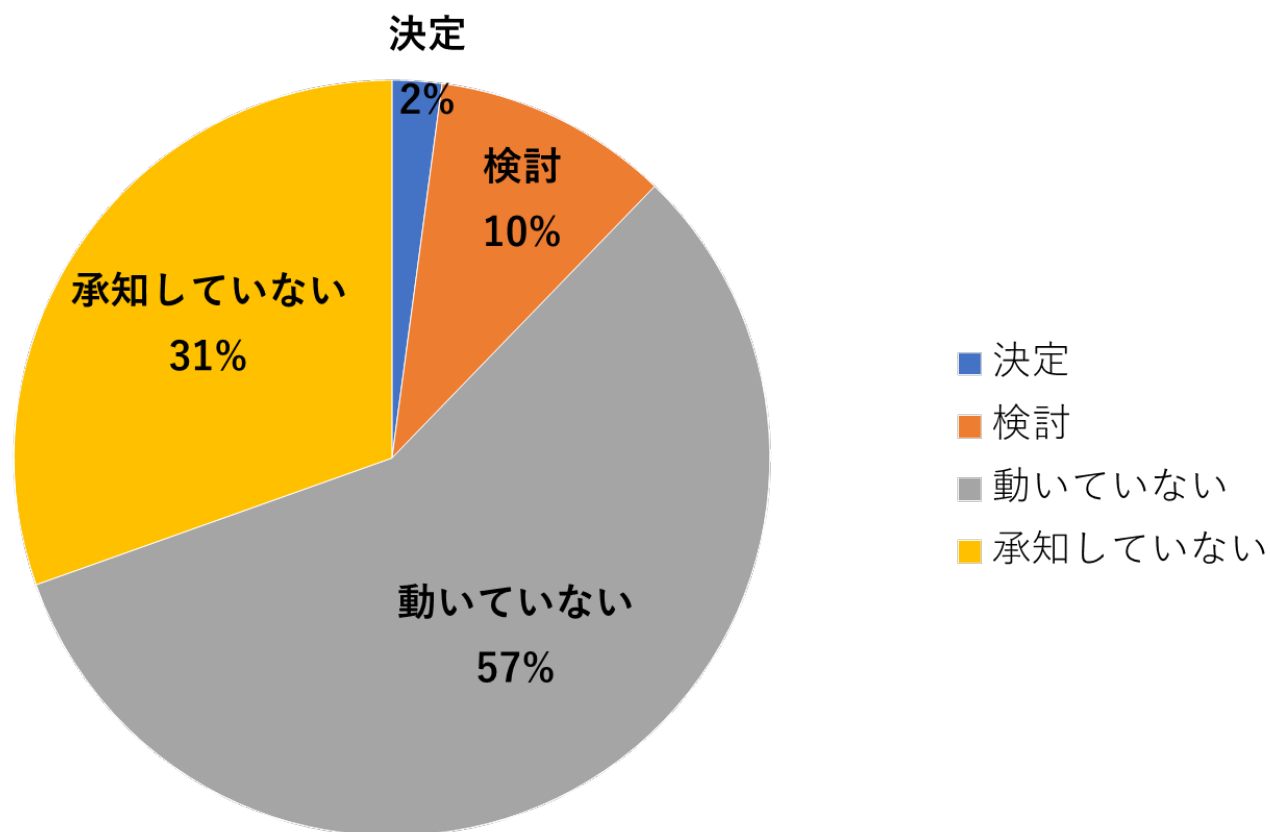


# 「自転車活用推進計画」について

ツール・ド・ニッポン

ざっくり  
言うと

- ✓ 69%が自転車活用推進計画の閣議決定について知っている。
- ✓ 事業の決定は2%、検討中も全体の10%にとどまる。



# まとめ

## ワールド・ドット・ニッポン

### まとめと調査主体者による考察

- ✓ サイクルツーリズム導入で自治体側が期待しているのは誘客効果であり、特に通年的な誘客を求めている。
- ✓ 通年的な誘客に向けた施策で実施率が高いのはハード整備とMAP制作。人材育成含めたソフト事業は実施率が低い。
- ✓ 通年的な誘客を求めているながら、通年的な効果を測定できる指標は持っていない自治体がほとんどである。  
⇒【考察】ただし一方で通年的な効果が表れている実感は持っているので、  
指標化・数値化することが自治体のみならず業界全体の課題である。
- ✓ 課題や阻害要因として、ノウハウ不足や予算の確保の困難さ、マンパワー不足の値の高さが特に目立つ。
- ✓ 各施策のターゲット選定と戦略・戦術策定については全体的に改善余地が大きい。  
⇒【考察】正しい戦略策定により、限られた予算を有効活用することが望ましい。

「ツール・ド・ニッポン」「全国サイクルツーリズム連携推進協議会」では、サイクルツーリズムで地域を活性化という理念に賛同いただける加盟地域を募集しています。

地域ごとの課題や目的（サイクルツーリズムを活用してどのようになりたいのか）を丁寧にヒアリングしたうえで、0ベースで戦略・戦術・施策を策定いたします。

- 法人WEBサイト（ルーツ・スポーツ・ジャパン）：<http://roots-sports.jp/>
- 事業WEBサイト（ツール・ド・ニッポン）：<https://www.tour-de-nippon.jp>

\*サイクリスト国勢調査2018結果レポート  
：<https://www.tour-de-nippon.jp/series/topics/3718/>

## 調査結果やデータの引用・転載について

ツール・ド・ニッポン

- ・調査データの引用・転載の際は、必ず「出典：ツール・ド・ニッポン（一般社団法人ルーツ・スポーツ・ジャパン）」と明記いただけますようお願いいたします。
- ・引用・転載先がWebページ（メディア/ブログ等）である場合、該当記事のURL（<http://www.tour-de-nippon.jp/series/topics/4264/>）をリンクしてご掲載ください。
- ・報道関係者様による引用の場合、利用・掲載状況の把握のため、下記までお問い合わせいただけると幸いです。

### ◆本件についての問い合わせ先

一般社団法人ルーツ・スポーツ・ジャパン 担当：袴田、西川

Mail: info@roots-sports.jp TEL: 03-3354-3900

住所：〒160-0011 東京都新宿区若葉1-4 四谷弘研ビル1F

URL: <http://roots-sports.jp/>